



## おめでとうございます

ご入園おめでとうございます。  
ご進級おめでとうございます。

玄関前のプランターで、チューリップが日に日にたくましく伸びてきました。寺尾中央公園では、桜の花芽が開花を待ちわびるように、桃色にほんのりとふくらんで見えます。どちらも春を待つお子たちの成長に、そっくり重なるように思えて新年度への期待が膨らみます。

初めてこども園という集団生活に入るお子には、不安や緊張が大きい四月です。

一方、ひとつ大きくなって進級した子どもたちにとっても、お部屋や担任の「せんせい」が変わり、新しいお友達を迎えて何となく落ち着かない——これが毎年四月初めのこども園です。

そこで四月は、子どもひとりひとりの不安や緊張をできるだけ早く取り除き、友達との関わりに興味を持ち、園生活の毎日が楽しくなるように、職員一同、「あたたかいふれあい」を第一に、ゆったりとした保育を心掛けて参ります。

どうぞお家では、「お友だちはできた?」「面白かった?」「全部食べた?」などと追求し過ぎないようにして、見守る心で接してくださいますように、お願い致します。

子どもたちには、頭がいいとか、何かができるとか、大人っぽいなどと言われる前にしっかりと育てておかなければならないことがあるのです。

それは「人間性の基礎」です。思いやり・優しさ・親切・やる気・がまん・根気などの情操と意志が人間性の柱になっています。

このような「心を育てる」ことを、子育ての基本目標にしなければならぬと思っています。

これが開園以来40年続けてきた松の実の保育教育のベースです。

こどもが自ら育つ力を信じて、自らの育ちの芽を摘み取るような教え込みや引き伸ばしを慎み、ひとりひとりの今ある育ちを支え、育ちから学んで、先の見通しを立てて援助し続けることが大人の役割です。

松の実の目標「丈夫な心と元気な体」に向けて、保護者様との連携を密に、信頼と協調の輪の中で子どもが子どもらしく、明るく元気に育っていきますように——と願い新たに新年度を迎えました。

平成三十年度も「子ども真中」  
どうぞよろしく願います。

園長 福田孝子